

2023 年 12 月 18 日 第 478 号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

パレスチナに平和を！緊急行動 米大使館行動に 600 人

ガザ侵攻やめさせるためにあらゆる措置を一米大統領あてに要請書

中東に公正で永続的な平和の実現を！

パレスチナに平和を！緊急行動は12月16日、アメリカ大使館近くの住友不動産虎ノ門タワー前で行動を行い、600 人が参加しました。アメリカのバイデン大統領あてに要請書「イスラエル政府と軍によるガザ市民へのジェノサイドを直ちにやめさせ、人道的緊急援助の実施、占領地への入植と領土併合の撤回、中東における公正で永続的な平和を実現するよう求めます」を届けました。



憲法共同センターからは高橋信一憲法会議事務局長が発言。「アメリカ政府は、イスラエルの非人道的な武力行使の中止とともに、双方に停戦実現を働きかけてしてほしい。ガザの人々のいのちを守るために努力してほしい」と訴えました。

●兵庫「ガザ人道支援スタンディング」 ジェノサイドを許さない！



神戸市須磨区で 12 月 15 日、第 2 回目の「ガザ人道支援スタンディング」を板宿イオン前で行いました。須磨区憲法共同センターの定例行動の規模を広げて参加を呼びかけ 35 人が参加し、男女交代で 12 人がスピーチしました。

それぞれの思いのこもった訴えに参加メンバーの一人から「スピーチを聞きながらガザの惨状が思い起こされて、涙が出た」との感想が寄せられました。支援募金のよびかけにも「ガザの子どもたちの悲惨な状況に胸が痛い。少額しかできないけれど」と募金に応じて頂きました。また、この日の 50 分ほどの行動で「大軍拡、増税反対」の署名も 27 筆が集まりました。須磨で「ガザでのジェノサイドを許さない」、「戦争の準備ではなく、暮らし、福祉を」の声をもっと大きなものにするために、来年も引き続き力を

を合わせます。(憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュースNo.937 より)